

Top Message
グループCEO・社長メッセージ

SEIKOを世界のトップブランドへ押し上げ、
新たな時代を切り拓いてまいります。

1969年、世界初のクォーツ式腕時計「クォーツアストロン」の製品化は時計産業に革命をもたらし、SEIKOブランドを世界に知らしめました。その後、セイコーは、時代に先駆けたウオッチを世に送り出し、その地位を揺るぎないものとしてきました。そして今、わたしたちセイコーは、さまざまなビジネスチャンスを生かし、SEIKOを世界のトップブランドへ押し上げ、さらなる飛躍を目指してまいります。世界初のGPSソーラーウオッチ「セイコー アストロン」で世界のデファクトスタンダード(事実上の標準)を獲得し、グローバルマーケットで圧倒的な存在感を示すとともに、時計以外の分野においても革新的な商品・サービスを創造してまいります。「常に時代の一步先を行く」という創業からの強い志と、このたび制定しました「時代とハートを動かす」というスローガンを胸に、セイコーは新たな時代を切り拓いてまいります。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼グループCEO

服部 真二

社員が働きやすく、十分に能力を発揮できる
職場づくりを進めてまいります。

2013年4月にスタートした第5次中期経営計画は順調に滑り出し、初年度である2014年3月期は計画値を上回る増収増益を達成しました。2016年3月期の最終目標に向け、基本方針である「事業収益の最大化」と「経営基盤の質的強化」に引き続き取り組んでまいります。セイコーの事業を支え、成長を生み出す原動力は社員という財産(人財)です。第5次中期経営計画においても、「事業の持続的成長に向けた人財育成やグループ横断的な人財交流の仕組みづくり」をテーマに、さまざまな施策を推進しています。特に、女性の活躍をより推進するため、女性管理職比率を10%とする目標を掲げ、社内啓発や意識改革、モチベーション向上を目的とした活動を行っています。また、社員の能力開発を支援する階層別研修を実施し、グループ全体の人財育成に力を注いでいます。さらに、育児休業・育児短時間勤務制度、安全衛生管理規則、メンタルヘルス対策などを通じて、誰もが働きやすい健全な職場環境の整備に努めています。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役社長

中村 吉伸



代表取締役社長
中村 吉伸

代表取締役会長兼グループCEO
服部 真二

Contents

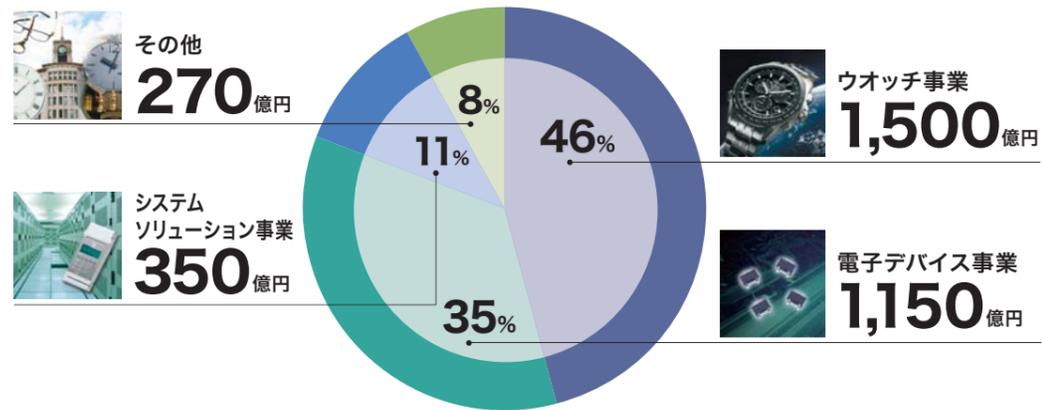
グループCEO・社長メッセージ	1
グループスローガン	3
第5次中期経営計画ハイライト	4
グローバルネットワーク/沿革	5
わたしたちの身の回りで活躍するセイコーの製品・サービス	7
特集 社会課題の解決に貢献するセイコーの製品・サービス	8

事業紹介	13
ウオッチ事業	13
電子デバイス事業	15
システムソリューション事業	17
その他	19
セイコーホールディングス株式会社	21

セイコーホールディングスグループのCSR	22
コーポレート・ガバナンス	23
お客さまとともに	25
お取引先とともに	26
社員とともに	27
地域・社会とともに	29

東日本大震災復興支援活動	31
株主・投資家とともに	32
環境保全の課題解決に向けて	33

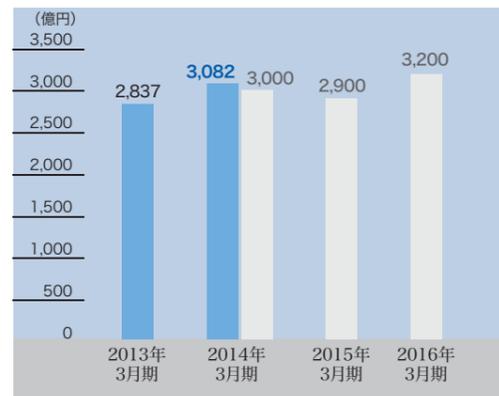
2016年3月期 セグメント別売上高目標数値



※円グラフの売上高目標数値・比率は、各事業間の内部売上高または振替高調整前の数値に基づいて算出しています。

第5次中期経営計画の初年度である2014年3月期の連結売上高は、前期の第4四半期に行った科学機器事業売却の影響という減収要因があったものの、前期より244億円増加し、3,082億円となりました。事業別では、ウオッチ事業は国内・海外で順調に売上を伸ばし、電子デバイス事業も半導体を中心に回復しました。利益面では、営業利益はウオッチ事業を中心に大きく伸び、対前期比84億円増の140億円となりました。また、経常利益は前期を69億円上回る101億円となりました。

連結売上高



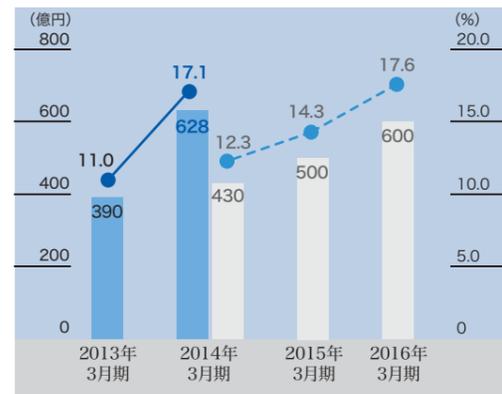
連結経常利益／経常利益率



連結有利子負債／ネットD/Eレシオ*



連結自己資本／自己資本比率



※負債資本倍率

■実績 ●計画

第5次中期経営計画ハイライト
(2014年3月期～2016年3月期)



グループスローガン

時代とハートを動かす
SEIKO

セイコーは、創業以来「常に時代の一步先を行く」という経営姿勢を貫き、革新を続けてきました。

この創業からの思いと、「お客様の感性に訴えたい」という新たな思いを込め、

わかりやすく表現した企業スローガンを制定しました。

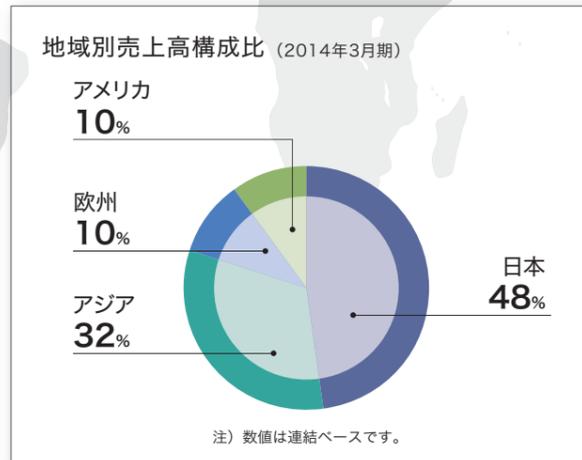
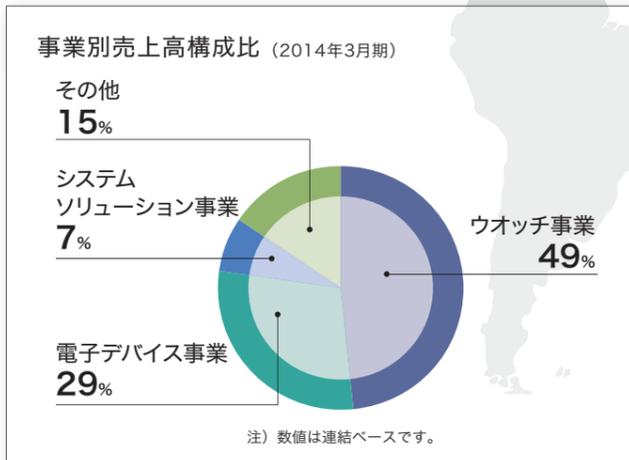
時代を牽引してきた技術力と感性で、これからも未来を創造していくという

セイコーの熱い意志と躍動感を伝えていきます。

このグループスローガンには、130年を超える歴史のなかで築き上げた大きな信頼を大切にしながら、次代を切り拓いていく感性とチャレンジ精神で、ワクワク、ドキドキするような時代をお客さまと分かち合いたいという願いが込められています。わたしたちは、これまで以上にお客さまの声に耳を傾け、技術と品質の向上に努めることで、お客さまの心と深く響きあえる素晴らしい関係をつくりあげたいと考えています。これからのセイコーにどうぞご期待ください。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼グループCEO
服部 真二





セイコーホールディングス株式会社 企業概要

創 業	1881年(明治14年)
資 本 金	100億円
従 業 員 数	112名(2014年3月31日現在) 13,439名(2014年3月31日現在連結)
売 上 高	108億円(2014年3月期) 3,082億円(2014年3月期連結)
事業の内容	ウォッチ、電子デバイス、システムソリューション、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨、設備時計などを扱う事業会社の連結経営管理
本社所在地	〒105-8505 東京都港区虎ノ門2丁目8-10 TEL:03-6739-3111(代表)

セイコーの歩み

<p>1881(明治14年) 創業(創業者 服部金太郎)</p>	<p>1892(明治25年) 精工舎設立。 掛時計の製造を開始</p>	<p>1913(大正2年) 国産初の腕時計 「ローレル」を発売</p>	<p>1932(昭和7年) 和光の時計塔(和光本館)竣工</p>	<p>1964(昭和39年) 東京オリンピックで公式計時を務める。 以後、5大会で公式計時を担当</p>	<p>1968(昭和43年) 国産初のデスクトップ コンピュータを発売</p>	<p>1969(昭和44年) 世界初のクォーツウォッチ 「クォーツ アストロン」を発売</p>	<p>1982(昭和57年) 世界初の テレビウォッチを発売</p>	<p>1985(昭和60年) 世界初の外食産業用 オーダーリングシステムを発売</p>	<p>1987(昭和62年) IAAF世界陸上ローマで公式計時を務める。 以後、継続して担当</p>	<p>1989(平成11年) 世界初のスプリング ドライブウォッチを発売</p>	<p>2004(平成16年) 高級機械式腕時計の一貫生産を行う 「隼石高級時計工房」を開設</p>	<p>2005(平成17年) 無水銀酸化銀電池を開発。 水銀による環境負荷の低減を実現</p>	<p>2012(平成24年) 世界初のGPSソーラーウォッチ 「セイコー アストロン」を発売</p>	<p>2014(平成26年) 世界初の家庭向け衛星電波クロック 「セイコー スペースリンク」を発売</p>
---------------------------------------------	----------------------------------------------------	----------------------------------------------------	---------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

確かな技術で、暮らしと産業を支えています。



目ざまし時計

ランナーズウオッチ「PROSPEXスーパーランナーズ」

スポーツ計時計測機器

エネルギー監視・制御システム
特集-P8

船舶用時計

通信基地局用発振器IC

GPSソーラーウオッチ「セイコーアストロン」

衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

時刻認証「サイバータイム」
特集-P9

放送局用標準時計装置
特集-P10

銀座・和光時計塔

マルチ電子決済サービス

オーダーエントリーシステム

アウトドアクロック

駅用クロック

カメラ用シャッター

ジュエリー

小型サーマルプリンタ

車載用IC、精密加工部品
P11 特集

「タイムサーバ」
P9 特集

大型インクジェットプリンタ

無線時計システム「タイムリンクプロ」

セキュリティ用センサ

眼鏡レンズ、フレーム

スマートデバイス用IC、電池、水晶振動子

建物内の「見える化」で、
環境にやさしく、
快適で安全な空間をつくる。

原発事故や国際紛争などを背景に、エネルギー情勢の不安定さが続いています。また、固定価格買い取り制度や化石燃料の輸入増加などが、電力料金を押し上げています。省エネは、企業にとっては避けられない経営課題のひとつとして重みを一段と増しつつあります。

その課題解決に役立つと注目を集めているのが、「見える化」です。エネルギーの消費は目に見えないだけに、どこどの程度のエネルギーを消費しているのか、実態を把握しないことには、データに基づく確かな対策は打てません。「見える化」は、対策立案の大前提です。

セイコーソリューションズ(株)では、手軽に導入し、便利に運用できる、そして将来への対応も万全なシステムのご提供を通して、「見える化」の推進をお手伝いします。

世界基準に準拠した
正確な時刻管理で、
電子取引の信頼性を高める。

社会におけるIT化の進展には目を見張るものがあります。転機は2001年、IT書面一括法と電子署名法が施行されたことで、官民の商取引で電子入札・契約などが可能になり、業務の省力化・効率化や書類保管スペースの削減などが図られつつあります。

そこで、重要な意味をもつようになったのが、情報システムにおける正確な時刻です。時刻が正確でないと、取引の信ぴょう性が問われます。トラブル発生時に取引履歴をたどれなければ、原因を究明できません。電子商取引という経済活動におけるリスクを正確な時刻が低減するのです。

セイコーソリューションズ(株)では、標準時刻の配信、正確な時刻の監査・認証を行う各種の機器とサービスをご提供することで、IT社会における信頼性向上に貢献します。



Time Server



標準時刻との同期を高い精度とセキュリティで可能にし、時刻の正確さと信頼性を高めるサーバ。取引の履歴を正確にたどることは、トラブル発生時の原因究明にも役立つ。

一般財団法人 日本データ通信協会の「タイムビジネス信頼・安心認定制度」で認定された時刻配信サービス、タイムスタンプサービスにより、電子商取引などの成立証明、貴重なデジタルデータの保護を支援。

BUILTALK-HX/LX

受変電、空調、セキュリティ、防災といった各種ビル設備の稼働状況を「見える化」。集中管理・制御するワンパッケージのビル管理システム。



エネルギー消費はもちろん、環境情報や稼働情報も一元化。計測、記録、見える化、対策立案の省エネサイクルを効率良く回すのに最適なシステム。



各種センサでエネルギー消費を「見える化」。障害物に強い周波数帯で利用できる無線システムにより、大がかりな工事なしに手軽な導入が可能。



事務作業の負担軽減を支援する電子契約サービスでは、システムの信頼性確保がポイントとなります。

当社は、パソコン上で産業廃棄物処理委託契約を締結できる電子契約サービスを提供しています。建設工事案件ごとに複数の事業者と交わす、複雑な事務作業の負担を軽減するもので、省力化やコストダウンに加え、システムの運用性やデータの非改ざん性といった信頼性がポイントとなります。セイコーのデジタルエビデンス・ソリューションは、使い勝手が良く、クラウドを活用した検証などで取引の履歴を正確に証明し、貴重なデジタルデータを保護するのに非常に役立っています。

株式会社イーリバースドットコム
取締役 経営企画部長 芥田 充弘氏 (所属は取材時点)



省エネ改善を継続的に推進するために、「見える化」できる仕組みが必要でした。

2011年6月から、「GreenTALK(グリーントーク)」を電力集計システムや省エネ改善の効果測定ツールとして活用しています。2008年から取り組んできた省エネ活動の成果をさらに高めるため、電力メーターを毎月検針する方式からリアルタイムに「見える化」を図る方式への切り替えを決めたのが、導入のきっかけです。「見える化」によって、省エネ改善のPDCAサイクルを効率良く回すことができるようになったうえ、従業員の省エネ意識の向上にも役立っています。

日本発条株式会社 DDS事業本部 駒ヶ根工場
生産技術課 春日 昇氏 総務課 森本 桂一氏 (所属は取材時点)

情報をリアルタイムに伝える放送メディアの多様化が進んでいます。テレビでは、デジタル地上波に加え、放送衛星(BS)や通信衛星(CS)が活用されています。放送メディアの情報送出業務は24時間365日、休みなどがありません。

途切れなく電波を送り続ける放送メディアにとっては、正確な時刻が不可欠です。さらに、デジタル化やネットワーク化によって、これまで以上に時刻の精度の高さが求められています。

テレビ放送の草創期から、セイコーはクォーツ時計の開発で培った正確で精工な技術力をベースに、放送局用標準時計システムを開発。放送メディア各社に、それぞれのご要望に合わせて供給してきました。放送メディアの新たな動向を読む対応力の高さと、正確性と信頼性をさらに高めています。

いつでも、どこでも、
どんなときも、
正確できめ細かい
番組配信を見守り続ける。



クルマの機能をフルに発揮させる
半導体技術で、
モータリゼーションの
進化を支える。

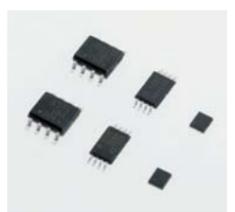
生活や産業に不可欠の社会インフラである自動車は、電子機器へと進化しつつあります。安全性、快適性、省エネ性の向上や、情報化への対応など、社会の要求に応えるため、機械制御から電子制御へ移行しているからです。電気自動車や燃料電池車の普及を前に、その流れはますます加速していくでしょう。

その電子制御の中核部品として機能するのが、車載用半導体です。高温で振動がある過酷な環境下で安定した性能を発揮する信頼度の高さが欠かせません。メーカー各社が燃費向上にしのぎを削るなか、消費電流の低さが求められます。

セイコーインスツル(株)では、時計用半導体技術の核である「低消費電流技術」を究め、製品群の拡充を図るなど、車載用半導体のご提供を通じ、「自動車の進化」を支援します。

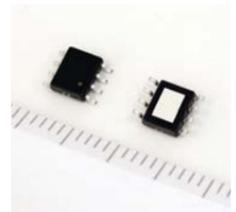
車載用EEPROM

電源を落としても書き込まれたデータをそのまま保持できるメモリ。走行系、安全系、快適・ボディ制御系など、車載電装機器に広く使用できる。



車載用ボルテージレギュレータ

マイコンの動作を外部から監視し、故障を検出することで安全を確保できる電源IC。電源回路の低消費電力化、安定動作、信頼性向上に貢献する。



放送局用標準時計装置

日本標準時に同期した放送局内の親時計。時刻信号を出力し、放送局内の機器や子時計に正確な時刻を供給する。



放送局用子時計

親時計の正確な時刻に自動で合わせる機能をもつ子時計。指針位置を検出するセンサと親時計からの時刻信号を比べ、時刻のズレを正す。





自動車メーカー各社が燃費向上を目指すなか、低消費電流の半導体は重要です。

カーオーディオやカーナビなど車に楽しみや利便性を提供する製品や、エアバッグに代表される車の安全性を高める製品などを製造し、内外の自動車メーカーに納めています。そこにセイコー製の車載用半導体を採用しているのは、低消費電流という性能の良さや国内メーカーとしての安心感からです。メーカー各社が燃費向上を目指し、消費電力を少しでも落とそうとする時代だけに、低消費は重要です。わたしたち顧客の声を次の製品開発に生かそうとする姿勢に、今後も期待をかけています。

三菱電機株式会社 三田製作所



24時間365日安定した番組配信を行うために、正確な時刻を供給する装置が不可欠です。

放送局内の時刻分配と、放送機器をミリ秒単位の精度で制御する放送用コンピュータの時刻合わせに、セイコーの標準時計装置を使っています。TBSの放送開始から60年を越えて一度も止まることなく、放送を支え続けることができています。現在の装置は5世代目で、通常はテレフォンJYYを利用して時刻を補正していますが、災害時など電話回線を利用できない場合に備え、GPSを利用したバックアップ補正システムも採用しています。正確な時刻を供給する装置として、放送局にとってなくてはならないものです。

株式会社TBSテレビ
技術局 CG部 同局 放送設備計画部 同局 放送設備計画部
部次長 山口 彰氏 赤石 精一氏 部次長 斉藤 勇喜氏 (所属は取材時点)



服部会長兼グループCEOより、今年の注力商品についてプレゼンテーションを行う。

Watches



セイコーが誇る匠の技を、時計の組立・調整、彫金のデモンストレーションで見せる。

TOPICS

世界最大のウォッチとジュエリーのトレードフェア「バーゼルワールド」に出展。「セイコー アストロン」第二世代モデル、「グランドセイコー」の新キャリアーなどの新商品を通じ、60以上の国・地域から訪れた販売パートナーやメディアに、セイコーのさらなる進化を伝えた。

- 出展企業40か国・1,500社。来場者15万人。
- セイコーは1986年から毎年出展。
- 初日のプレスカンファレンスは400人の来場者で満席。

ウォッチ事業

ウォッチをはじめ、電子デバイス、システムソリューションの3事業を軸に、さまざまな事業を展開しています。グループ各社が連携しながら、さらなる飛躍を目指します。

すべての主要部品を自社で製造する世界でも数少ない「マニファクチュール」として、ウォッチ業界におけるリーディングカンパニーを目指します。

腕時計に新たな革命をもたらす
世界初のGPSソーラーウォッチ



世界初GPSソーラーウォッチ「セイコー アストロン」

2012年、世界のタイムゾーンに対応し、簡単な操作で、地球上のさまざまな場所での正確な時を知ることができる、世界初のGPSソーラーウォッチ「セイコーアストロン」を発売しました。かつて、セイコーは世界初のクォーツウォッチ「クォーツアストロン」で腕時計の世界に革命をもたらしました。これに続く第二の革命と位置づける「セイコーアストロン」は、発売以来、世界中から非常に高い評価を得ており、既存の腕時計の概念を覆す新たな腕時計のスタンダードとなることを目指しています。

匠の技と先進技術で生み出される
高級機械式腕時計

2004年、高級機械式腕時計の需要の高まりに迎え、岩手県に「雫石高級時計工房」を設立しました。高級機械式腕時計を専門に、部品製造から完成品の組み立てまでを一貫して行う日本有数の工房です。この工房を核として、高精度を支えるミクロン単位でのぜんまい調整、厚み1.98mmの極薄ムーブメントの組み立て、繊細で優美な彫金などの匠の技と、新合金や最先端金属成型技術による部品製造などの先進技術の融合により、「グランドセイコー」と「クレドール」ブランドの最高品質の機械式腕時計をつくっています。



雫石高級時計工房(岩手県)

お客さまのニーズに応える
幅広いブランドマーケティング

多様化が進むお客さまのニーズに応えるため、SEIKOを中心に国内外で幅広いブランドマーケティングを行っています。実用時計の最高峰「グランドセイコー」をグローバルに展開するほか、国産最高級ブランド「クレドール」、自分らしく生きる女性のための「セイコールキア」など、個性豊かなプロダクトブランドで、さまざまなライフスタイルに合った腕時計を提供しています。また、世界的に成長を続けるファッション・スポーツウォッチ市場に向け、2013年7月にグループ内の同分野事業を統合した新会社を設立し、市場シェア拡大を図っています。



グランドセイコー



セイコー ルキア

セイコーでは
はたらく人



セイコーウォッチ株式会社
宣伝販促部

森 俊江

バーゼルワールドにはこれまで3回参加していますが、世界中からSEIKOのウォッチを求めてやってくる人たちの熱気に毎回圧倒されます。ここでは、英語だけでなくさまざまな言語が飛びかき、わたしが海外向け広告宣伝を担当するレイスイウォッチについて、貴重なご意見をいただくこともあります。まさにグローバルマーケットの縮図を見ているようです。こうしたコミュニケーションの機会を通じて得られた情報を、世界中の人たちの心に響く広告表現に生かしていきたいと考えています。

主な事業会社

- セイコーウォッチ株式会社
- セイコーインスツル株式会社



Electronic Devices

TOPICS

電子デバイス事業のひとつ「インクジェットプリントヘッド事業」は、タイルなどの建材印刷やテキスタイル捺染印刷などの分野に用途が拡大、市場が急成長している。腕時計の開発・製造で培ってきた精密加工技術をもとに高性能のインクジェットプリントヘッドを開発。広告看板産業をはじめ、建材産業やアパレル産業の生産性と品質の向上に貢献している。

- セイコーならではの精密加工技術が実現する高い信頼性。
- 用途ごとのインク評価など、幅広い市場要求に応える細やかな技術サポート。
- 大手プリンタメーカーによる継続的な採用で、グローバル市場で安定した実績。

事業紹介

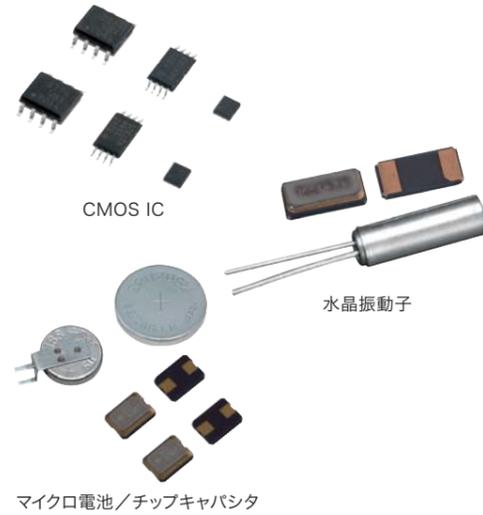
電子デバイス事業

精密加工技術、小型・省電力技術などで、高度化する社会と産業をサポートします。

電子部品

— 小型化、低消費電力化、高機能化を実現

クオーツウオッチ開発から生まれた電子部品は、スマートフォンやデジタル家電、自動車、産業用機器などの分野で幅広く活躍しています。CMOS ICや水晶振動子は小型、低電圧駆動、低消費電力、高精度で機器の小型化、高機能化、駆動時間の長時間化に貢献。なかでも、CMOS ICは、厳しい環境下での安定動作が求められる車載用にも多く採用され、その実力が高く評価されています。また、水晶発振器用ICは世界シェアナンバーワンを誇ります。



プリンタ

— 確かな技術力で高まる安心感、極まる生産性

感熱紙に熱を加えて印字するサーマルプリンタメカニズムは、POSレジや決済端末、医療・計測機器などで多く利用されています。屋外看板やポスター印刷用の大型インクジェットプリンタは、高生産性と高画質の両立、使いやすさ、環境への対応を実現し、お客さまの業務を支援します。また、プリンタの基幹部品であるインクジェットプリントヘッドは、新興国市場を中心に、建材印刷用や、捺染用など産業用インクジェットプリンタへの採用が拡大しています。



メカトロ

— 社会を支える精密加工技術

時計製造を通じて育まれた精密加工技術を生かし、HDD、医療、カメラ、モーター、携帯電話など、さまざまな分野で使用される精密切削部品を提供。また、ABSブレイキ部品やエンジン・トランスミッション部品などの自動車用部品や、デジタルカメラ用シャッタの製造も手がけています。さらに、金属加工の現場で培われたノウハウを凝縮した工作機械は自動車部品メーカーなどで多数採用され、高精度のモノづくりにも実力を発揮しています。



半導体はウソをつかない製品です。それだけに、わたしたちは数多くのテストを行い、統計的な視点からデータを記録・蓄積・分析して精度の向上に努めています。特に、人の命にかかわる車載用半導体では、より高い精度が求められます。自分の可能性を信じ、常に社内、業界、世の中の動きなどから刺激を受けて技術力を磨き、世界一の精度をもつ半導体の開発を目指していきたいです。



主な事業会社

- セイコーインスツル株式会社
- セイコープレジジョン株式会社
- セイコーNPCC株式会社



事業紹介

システムソリューション事業

ハード、アプリケーション、データセンターの複合サービスで、付加価値の高いソリューションを提供します。

システムインテグレーション

顧客市場に密着した対応で、ICTソリューションをトータルに提供

総合ビル管理システムをはじめ、省エネを実現するエネルギー管理システム、外食店舗オペレーションをサポートするレストランオーダーリングシステム、デジタル情報に電子署名とタイムスタンプを付与するデジタルエビデンスソリューションなどを提供。お客さまに密着し、市場のニーズを深掘りしたソリューションを提案します。

電力に留まらない総合管理を実現する
エネルギー監視・制御ソリューション

GreenTALK
グリーントーク

エネルギー監視・制御ソリューション
「GreenTALK」

SEIKO Cyber Time
2006/06/10 10:08:53
タイムスタンプサービス

いつでも
どこでも

レストランオーダーリングシステム
「MONSTERA」

決済ソリューション
—お客さま視点で決済ニーズに応え、端末からサービスまで一貫してサポート—
お客さまにとって最適な決済ソリューションをトータルに提供しています。非接触IC用端

末の開発から、企業間の電子商取引を支える決済パッケージソフトの販売、タクシーや訪問販売における無線カード決済サービス「CREPICO(クレピコ)」を提供。さらに情報処理センターの運用まで一貫してサポートします。

タクシー向け
決済端末

非接触IC決済端末

ROS³ **CAPS**
L-CRIP

決済ビジネス 各種サービス

ネットワークソリューション
—時刻同期やレガシー通信など、つなぐ技術を極めた製品で信頼と安心を生む

ネットワーク上のマシンに標準時刻を高精度に配信する「タイムサーバ」、既存のレガシー通信に対応しシームレスな情報の一元化を図るマルチプロトコルコンバータ「USTシリーズ」、イーサネット上で確実に通信するための各種ネットワーク機器など、信頼性と安定性の高い自社開発製品を提供。情報と情報を快適につなぐ、新たな価値を提案します。

モバイルソリューション
—M2M市場をリードするモバイルソリューションベンダーを目指す

長年培ってきた無線技術と小型化技術を駆使し、M2M市場における先駆的な製品を提供しています。国内初のLTE3バンドに対応したM2M通信モジュールや通信モジュール組み込み機器を軸に、運用サービスまで拡大。さまざまな業種の課題解決を図る、モバイルソリューションベンダーを目指します。

PHS端末

スマート体組成計

「ミスター省エネ」
温・湿・照度ノード

マルチプロトコルコンバータ
USTシリーズ

Netwiser ロードバランサ

タイムサーバ

コンソールサーバ SmartCS



Systems Solutions

TOPICS

2014年7月、セイコーソリューションズ(株)は、セイコーインスツル(株)のシステムアプリケーション事業を統合。これにより、スピード感をもってお客さまにより良いソリューションを提供する体制が整った。

- 「つなぐ」ことで価値を創造する」をDNAに。
- お客さまも社員も笑顔でいられる「スマイルソリューションパートナー」をスローガンに。



セイコーでは
はたらく人



セイコーソリューションズ株式会社
システムインテグレーション統括部 守谷 康

わたしの所属するシステムインテグレーション統括部は、世の中にある製品や技術を組み合わせ、システムとしてお客さまに提案することを本業としています。経営統合によるシナジー成果がもつとも期待される部署です。現在担当している「GreenTALK(グリーントーク)」は、セイコーが保有する無線センサーネットワーク技術を組み合わせ、環境の「見える化」をサポートするユニークな製品として開発したものです。今後は違う分野の人たちと組んで、もっとユニークな世の中を変えるような製品をつくっていききたいですね。

主な事業会社

セイコーソリューションズ株式会社



事業紹介

その他

クロック、小売、システムクロック／スポーツ機器、眼鏡など、幅広い事業領域で社会に貢献しています。

■クロック
掛時計の製造開始より120年、常に時代をリードするクロックを提供してきました。企画・開発・製造から販売・アフターサービスまでを一貫して行うクロックのトータルカンパニーとして、伝統に支えられた高い品質とモノづくりの技、先進技術の融合により、幅広い商品ラインアップを誇ります。

■衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

2014年、GPS衛星からの時刻情報を受信し自動的に表示時刻を修正する、衛星電波クロックを家庭用としては世界で初めて発売しました。標準電波を利用する従来の電波時計に比べ、屋内でも受信可能な範囲が大幅に広がり、受信スピードも最短10秒と大幅に短縮されました。GPS衛星の信号を受信できる場所であれば、国や地域にかかわらず正確な時刻表示を実現する、まさに進化した電波時計といえます。



世界初の家庭向け衛星電波クロック「セイコースペースリンク」

主な事業会社
セイコークロック株式会社

■小売

おもてなしの心でお客さまに接する
銀座の高級専門店

銀座を代表する高級専門店・和光では、時計をはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、室内装飾品、食品など、お客さまの声を取り入れて独自に開発した、あるいは国内外から厳しい目で選び抜いた、高い品質を誇る商品を幅広く取り揃え、質の高いサービスを提供しています。また、銀座の街を見守る和光の時計塔は2014年に竣工82年を迎え、この間、銀座のシンボルとして多くの人々に愛されてきました。これからも、長い歴史と伝統のなかで培ってきた上質へのこだわりとおもてなしの精神で、お客さまとの信頼関係を大切にしていきたいです。



和光本館

主な事業会社
株式会社和光

■システムクロック／スポーツ機器

公共の空間やスポーツシーンで活躍

学校・病院などの公共施設で使われる設備時計、街を彩るからくり時計、放送局用時計などの専門的な時計から、10000分の1秒までの計測可能なスポーツ計測機器、競技データ処理システムおよび各種大型表示盤やスコアボードなど、システムクロックやスポーツ機器の企画・開発から製造・販売、アフターサービスにいたるまで総合的に行っています。また、国際大会などで培われた豊富な経験と、高度な技術力をベースに、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。



東京辰巳国際水泳場の大型表示盤

主な事業会社
セイコータイムシステム株式会社

Others

TOPICS

GPS衛星に搭載された原子時計の時刻情報を受信することで、世界中どこでも常に正確な時刻を表示する、世界初の家庭向け衛星電波クロック「セイコースペースリンク」を発売。鉄筋のビルを含むほとんどの建物内で正常に受信でき、家電製品や電子機器から発生するノイズの影響を受けにくいのが特長。

- 原子時計の誤差は10万年に1秒。
- その国の標準時にセットすれば世界中で使用可能。
- 建物の開口部から電波が届く距離は平均で15m。



セイコータイムシステム株式会社
セイコータイミンング部

相澤 洋平

初めての大会や新機材を使ったスポーツ計時など、新しいことにチャレンジすることにやりがいを感じます。ときには、準備段階で試行錯誤が続ぎ、予期しないトラブルが発生することもありますが、セイコーには1964年の東京オリンピック以来、国際的なスポーツ競技の公式計時を50年にわたって務めてきた実績があります。積み重ねてきた成功事例を生かしながら、さまざまなことにチャレンジしています。これからもスポーツ界に欠かせない企業として、大きな責任を果たしていきたいと思っています。

■眼鏡
90年以上の歴史を誇る眼鏡事業。メガネレンズ・フレームの企画から販売までを行っています。レンズとフレーム双方を扱う世界的にも数少ない会社として、最高、最適なパフォーマンスを実現するメガネ「EYEWEAR THAT PERFORMS」の提案により、「メガネはセイコー」の浸透を目指します。

■幅広いラインアップが揃う
セイコーの高付加価値商品

1997年に世界初の遠近両用ティラーメイドレンズを発売して以来、セイコーは一人ひとりの「お客さま仕様」を目指したレンズ開発を推進。「スペリオールPX」を筆頭に、遠近両用レンズ「パシユートシリーズ」も充実しています。フレームは常に、品質、デザイン、掛け心地を追求。メンズコレクション「プレザージュ」をはじめ洗練されたデザインと柔らかな掛け心地の新レディースコレクション「ルネ・ドウ」が加わり、掛けた方のスタイリッシュな表情を演出する豊富なラインアップが揃いました。



「メガネはセイコー」の新広告

主な事業会社
セイコーオプティカルプロダクツ株式会社



事業紹介

セイコーホールディングス株式会社

グループの持株会社として、連結経営管理、財務・知財管理、グループ広報、株主や投資家の方々に向けたIR活動などを担当します。

スムーズな連携で相乗効果を高める

グループの持株会社として、連結経営管理、財務・知財管理、グループ広報、株主や投資家の方々に向けたIR活動などを担当。一人ひとりが有する専門知識を生かして、各事業会社が効率的・機動的な経営ができるようサポートしています。

またグループ全体の長期かつ俯瞰的な舵取りを行い、グループの結束力と経営効率を高めるとともに、各社の連携によるシナジー効果の最大化を図っています。

持株会社の役割強化に向けて

第5次中期経営計画では、経営基盤の質的強化を図るための課題として、左記の3つの施策を推進しています。

- 1 グループ経営上の戦略的意思決定の強化
- 2 事業会社サポート機能の強化
- 3 PR、IR、CSR活動の強化とブランド投資の継続

セイコーの多彩なコミュニケーション活動

お店やモノづくりの現場で、あるいはスポーツや音楽を通じて、多くの皆さまと触れ合うべく、多彩なコミュニケーション活動を行っています。



アウトオブキッザニア



「Starry Night Concert」



TOKYO FM
「松下奈緒 Sound Story」



IAAF世界陸上2013モスクワ
セイコーパビリオン



東京マラソンEXPO2014



水泳競技大会